



2019年8月7日

各 位

上場会社名 昭和電工株式会社
コード番号 4004 東証第1部
代表者 取締役社長 森川宏平
問合せ先 財務・経理部 IR室長 加藤信裕
TEL (03) 5470 - 3323

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の景気動向を踏まえ2019年2月14日に公表しました2019年12月期通期連結業績予想を修正いたします。

記

1. 2019年12月期通期連結業績予想の修正

(2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2019年2月14日発表)	百万円 1,100,000	百万円 190,000	百万円 185,000	百万円 120,000	円 銭 822.61
今回修正予想(B)	980,000	145,000	142,000	90,000	616.96
増減額(B) - (A)	△120,000	△45,000	△43,000	△30,000	
増減率(%)	△10.9%	△23.7%	△23.2%	△25.0%	
(ご参考) 前期実績 (2018年12月期)	992,136	180,003	178,804	111,503	758.15

2. 業績予想修正の理由

売上高は、石油化学セグメントではナフサ価格の低下を受けエチレン等主要製品の市況が前回予想を下回り減収を見込みます。無機セグメントでは、黒鉛電極事業において欧州市場で当社欧州拠点の品質改善工事に加え、顧客での在庫調整の進展があり減産を実施いたします。また中国では低中品位電極の増産による需給軟化もあり、総じて減収を見込みます。化学品セグメントはIT業界向けの生産調整を受け電子材料用高純度ガスの出荷減により、またアルミニウムセグメントは産業機器・自動車業界向けの出荷減により、それぞれ減収を見込みます。

営業利益は、売上高の減少に伴い減益を見込みます。特に無機セグメントでは黒鉛電極事業の減産の影響と、石油化学セグメントではオレフィン市況の軟化による影響が生じます。

これを受け、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についてもそれぞれ減益となる見込みです。

尚、配当につきましては期末配当金として1株当たり80円の予想に変更はありません。

以上